

文部科学省創生実行計画の進捗状況（令和元年6月6日現在）

～第1回改革実行本部における大臣指示事項～

資料3

事項	現在の状況
コンプライアンス体制	<ul style="list-style-type: none">・ <u>5月17日にコンプライアンスチームの第1回会合を開催し、内部公益通報制度の活用や職員の意識を高めるための方策など、コンプライアンス確保のための取組について御議論いただいた。</u>（チームメンバーに随時相談に行くことが可能。）・ <u>内部公益通報の窓口については、省改革推進・コンプライアンス室に加え、男女各2名の若手弁護士に職員が相談できる体制を5月に整備し、あらためて省内に周知した。</u>・ <u>身近な職員からの相談に乗る「コンプライアンス等相談員」について、5月に規程を整備した。</u>相談員を各局課に配置するために、現在、候補者の推薦を各局課に依頼中。
業務改善の徹底	<ul style="list-style-type: none">・ <u>業務改善推進員については、全12部局について選任・発令済み（157名）。</u>業務改善推進員の連絡会を5月と6月にそれぞれ開催し、今後の活動の方向性や各部局の好事例の共有を行った。・ <u>業務改善実行会議については、4月と5月にそれぞれ開催し、他省庁の先進事例のヒアリングや、省内の意識調査の結果共有、業務改善改革計画の策定に向けた意見交換を行った。</u>・ <u>局長級以上についての業務運営上の方針の策定及び職員への周知を進めているところ。</u>審議官・課室長級についても同様の方針策定及び共有を行う予定。・ <u>次官と若手職員のランチ会を3回開催し、現在、両文科審についても、係長以下の職員を中心として希望者を公募し、順次ランチ会を開催しているところ。</u>
人材育成・採用・配置等の改革	<ul style="list-style-type: none">・ <u>省内の4ポストについて公募を実施</u>（審議官級1、企画官・室長級3）。・ <u>人材育成の基本的な考え方について検討を進めるとともに、可能なものから実施。</u><ul style="list-style-type: none">✓ <u>これまで交流の少なかった地方公共団体首長部局（副知事）に新たに職員を出向</u>（6月）✓ <u>現場経験を積む研修として、採用直後に学校現場に新規採用職員全員を1日派遣した</u>（4月） ほか、<u>大学の技術移転機関（TLO）に新たに職員を派遣予定</u>（6月）・ <u>職員が子育てや介護等と仕事を両立できるよう、ワーク・ライフ・バランスの取れた職場環境の充実を目指し、まずは子育て中の職員から意見をきく「ママパパ井戸端会議」を実施</u>（5月～6月に、永岡副大臣ご出席のもと、3回開催）（夏を目途に提言を取りまとめる予定）。